

令和八年十月八日

令和八年第三回都議会定例会を終えて（談話）

東京都議会自由民主党幹事長 ほっち易隆

本日、令和八年第三回定例会が終了しました。

地震や水害など甚大な自然災害が各地で頻発し、「想定外」がもはや「当たり前」になる中、東京都にとって、災害対策の充実強化は喫緊の課題です。都民の命と財産を全力で守り抜くという都政の基本を知事と共に再確認し、各種災害対策の推進と、その基礎となる強靱化プロジェクトのアップデートに取り組みます。

今年、各地で線状降水帯によって数時間降り続く長雨によって多くの被害が発生しました。東京都はこうした災害に備えて「地下河川」構想を発表し、都民を水害から守る取組を既に進めています。その基盤を支えるのが地下調節池です。現在工事中の善福寺川上流地下調節池をはじめ、都民を守る取組を計画的に着実に進めてまいります。

そして、長引く物価高騰、資材高騰、人手不足など、厳しさが続く都民生活と都内中小企業への支援、高齢化の進展に伴う医療提供体制の整備、女性活躍に向けた健康課題への取組、産業構造の変化に対応した人材育成、スタートアップと地域中小企業の連携の後押しなど、より暮らしやすく、明日に希望が持てる東京を目指し、様々な施策を着実に推進してまいります。子供たちを性被害から守る取組も重要です。年末に日本版DBSがスタートします。制度の趣旨は当然として、実際に学校や幼稚園、塾などの現場で、どのように制度を運営していくのか、具体的な手続きに関して戸惑いの声があるのも事実です。制度の趣旨と制度の運用とは別の次元の話です。せっかくの制度が迅速かつ適切にその効果を発揮できるよう、今後の動向を注視し、制度運用等に関して建設的な提案を行ってまいります。

この点に関して、我が会派の質問によって、都立学校に不審なカメラをチェックする機器をモデル的に配布することになりました。こうした環境整備にも引き続き取り組みます。

都内のフロン排出の4割を占める、家庭用エアコンからのフロン漏えいは大きな課題です。エアコンの取り換え時におけるフロン回収を確実に実施するなど、実効性のあるフロン漏えい対策を進めるとともに、発火事故の危険があるリチウムイオン電池の適正な回収に向けて、区市町村や民間企業と連携して回収拠点を増やすなど、環境対策を充実強化してまいります。

インバウンドの増加に伴い、民泊施設のゴミ出しや喫煙が、23区を中心に大きな問題になっています。都が所管する多摩地域や島しょ地域においても、トラブルの未然防止に向けて、早めに対策を講じるよう、取組を進めてまいります。

日本経済を牽引する都を狙い撃ちにした不合理な税制改正は、我が国全体の成長を損なうものであり、到底容認できるものではありません。国と地方の役割分担に応じた、あるべき地方税財政制度の実現に向けて全力で取り組んでまいります。